

## ○ 部活動の目的

学習指導要領（抜粋）

生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に質するものであり、学校教育の一環として教育課程との関連が図られるように留意すること。

文部科学省 学習指導要領 平成20年9月 総則P72

上記のことを踏まえて、本校における部活動の目的は以下の通りとする。

- ・ 集団活動を通して生徒の自主性、社会性を身に付けさせ、豊かな人間性を育成する。
- ・ 生徒の個性を伸長することで、自尊心を高め、学校生活をより楽しくする。
- ・ 生徒の体力や向上心を高め、健康で文化的な生活が送れるようにする。
- ・ 教師と生徒が同じ目的に向かって活動することで、生徒と教師の関わりを深め、学習指導や生活指導が効果的に行われるようにする。

## ○ 活動時間

期間	活動時間	完全下校時刻
夏季	16:10～17:15	17:30
冬季	16:10～16:45	17:00
朝練習	7:40～8:00	

- ※ 朝練習については、貴重品を交換し、教室で着替えや荷物の整理をしてから活動場所へ移動する。
- ※ 朝練習は、安全面に配慮した練習内容で自主練習とし、強制参加ではない。また、活動の時期を定めて実施する方向に今後移行していく。

## ○ 附属中学校部活動のきまり

- ・ 入部に当たっては、部活動紹介、部活動仮入部などを参考に、生徒と保護者が相談した上で入部する。
- ・ 活動にあたっては、顧問・部長などの指示に従い活動する。
- ・ 活動上の問題、悩みなどについては、顧問、または学級担任などに相談し、適切な指示を仰ぐ。
- ・ 活動における準備は機敏に行い、時間内で効率的な練習ができるよう全員が協力する。
- ・ 下校の支度を素早く行い、完全下校時刻までに下校する。
- ・ 部活（練習・大会）における生徒への差し入れを一切禁止する。
- ・ 対外試合については、あいさつ・言葉遣い・行き帰りの安全等に十分留意する。
- ・ 長期休業中の部活動については、別計画で行う。
- ・ テスト同時実施日の2日前からは活動しない。
- ・ 衣類など各部で決められたものを着用するが、その他については、基本的に附属中の生活のきまりに準ずる。
- ・ 部活動時における学校への登下校の際は、制服を着用する。
- ・ ウインドブレーカーは部活動時のみ着用し、授業などでは着用しない。
- ・ 退部、転部に際しては、生徒、保護者、学級担任、顧問と十分に話し合いを行い、意思を確認して

書面にて手続きを行う。

## ○ 適切な休養日の設定について

運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（抜粋）

- 1 学期中は、週当たり2日以上以上の休養日を設ける。（平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日（以下「週末」という。）は少なくとも1日以上を休養日とする。週末に大会参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。）
- 2 1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度、学校の休業日（学期中の週末を含む）は3時間程度とし、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。

スポーツ庁 平成30年3月

上記を踏まえて、本校における部活動は、以下の通りとする。

- 1 活動する場合は、原則土・日2日間のうち1日のみ、3時間程度とする。
- 2 長期休業中（夏・冬・春休み）の土日は原則として活動しない。
- 3 休日の練習は、1年間で30ポイント程度とする。  
（半日練習で1ポイント、大会は1大会で1ポイントとする。）

## ○ 運動部活動の運営について

- 1 生徒が豊かな学校生活を送りながら人格的に成長していくという運動部活動の基本的意義を踏まえ、例えば、一部に見られる勝利至上主義的な運動部活動のあり方を見直すなど、生徒の主体性を尊重した運営に努める。
- 2 スポーツに関する多様なニーズに応える観点から競技志向や楽しみ志向などの志向違いに対応したり、一人の生徒が複数の運動部に所属することを認めるなど、柔軟な運営に努める。
- 3 バランスのとれた生活やスポーツ生涯を予防する観点から、学校段階に応じて、年間を通じての練習日数や1日当たりの練習時間を適切に設定する。
- 4 合同練習や定期的な交流大会で異校種間も含めた学校間の連携を図るなど、運動部活動の活性化を図る。

茨城県中学校体育連盟 平成29年4月3日

## ○ 保護者送迎における生徒の安全面への配慮について

- ・生徒の大会参加は、原則保護者による送迎、もしくは公共の交通機関を利用して参加するものとする。（安全面から、なるべく乗り合いはせず、ご自分の子供のみを送迎する）
- ・やむを得ず大会などで遠方に移動するときは、借り上げバスを借用し利用する。